

## ■災害時に備えて、平時のうちにできることを ～武雄市で災害ボランティアセンターの運営研修を実施～

6月28日(土)武雄市で「市町社協災害ボランティアセンター(以下、災害VC)設置・運営研修会」を開催し、県内の社協職員や武雄市内の民生委員・児童委員およびボランティア団体、さらに行政、NPO、企業などから約130名に参加いただきました。▶この研修会は、円滑かつ効果的な被災者支援活動に向けた災害VCの運営について学ぶことを目的に毎年開催しています。▶当日は、日野ボランティア・ネットワーク(鳥取県)代表の山下弘彦氏から、今までの災害VC運営支援の経験を踏まえ、災害時における多機関連携の重要性について講義いただきました。続いて、武雄市で豪雨災害が発生したことを想定し、災害VCのスタッフとボランティア、被災者役等に分かれ、ボランティア受付や被災者からの困りごとの聞きとり、活動のマッチング等の実践演習を行いました。▶演習後の振り返りでは、「スタッフ間の役割分担や運営の流れについて、共通認識を持つことが重要」「住民の方々の困りごとをまずは丁寧に受け止めることが大切」等、様々な立場から気づきや学びを共有できました。▶本会では、今後も実践的な研修等を通じて、各市町において効果的な被災者支援活動を取り組むことができるような体制づくりを進めます。



【実際の災害VCでの動きを想定しながら訓練に臨む参加者】

## ■県内児童福祉施設における殺傷事件を受けて佐賀県知事あてに要望書を提出しました

5月31日(土)、佐賀市の児童福祉施設において、職員が命を落とされ、複数の職員が負傷されるという、極めて深刻で痛ましい事件が発生いたしました。日々福祉の現場で尽力されている職員が被害に遭われたことは、私たちにとって大きな衝撃であり、深い悲しみを禁じ得ません。▶事件を受け、6月6日に国(こども家庭庁)からの通知※が発出されました。佐賀県児童養護施設協議会では、6月25日に臨時施設長会を開催し、今後の対応について協議しました。▶その結果を踏まえ、6月30日には佐賀県知事あてに関係者全体への説明や意見交換の場の設置などを求める要望書を提出したところ、7月9日には児童福祉施設関係者等への意見交換の場が設けられました。その席上、こども家庭局長からは、今後も継続して支援の在り方について協議を進めていく意向が示されました。▶近年、児童福祉施設は地域に開かれた存在として、分園の設置などの取組が進められています。こうした変化の中で、安全管理体制の見直しは急務となっており、本会でも、こどもたちや職員が安心して過ごせる環境づくりに向けて、関係機関と連携しながら支援していきます。



【県へ要望書を提出する児童養護施設協議会井上会長(中央)】

※「児童相談所及び児童福祉施設等における一時保護中の保護者対応等について」(令和7年6月6日付こども家庭庁)

## ■未来の福祉を担う高校生たちが集結！高校生福祉セミナーを開催しました

令和7年6月21日（土）、神埼市中央公民館にて「高校生福祉セミナー」を開催しました。▶本セミナーは、将来の進路を考え始める高校生に対し、福祉や介護の仕事の魅力を伝え、福祉業界で活躍していただくことを目的としています。▶当日は、介護技術コンテストに参加する福祉系高校を含む多くの高校生が集まり、現役介護職員と福祉系大学生によるパネルディスカッションが行われました。介護職員からは現場でのやりがいや具体的なエピソードが語られ、大学生からは地域活動を通じた福祉への思いが紹介されました。参加者からは「具体的なイメージが持てた」「進路を考えるうえで参考になった」といった声が寄せられました。質疑応答では多くの高校生が積極的に質問を投げかけ、福祉の多様な可能性や現場のリアルな現状について真剣に学ぼうとする姿がみられました。▶本セミナーは、毎年、福祉系大学である西九州大学と佐賀高等学校教育研究会福祉部会との共催で実施しており、地域全体で福祉職の魅力と可能性を考える貴重な機会となっています。▶今後も様々な事業を通じて、次世代を担う若者に福祉の魅力を伝えていきます。



【パネルディスカッションに熱心に聴き入る参加者】

## ■返済だけを目的にしない、貸付後の生活を支えるフォローアップ支援に取り組んでいます

本会および市町社協では、コロナ禍で生活に困難を抱えた方々を支えた「コロナ特例貸付」の利用者に対して、貸付後の生活のフォローアップを行っています。▶「貸付」と聞くと「督促」や「取り立て」といったイメージがありますが、社協が目指す支援の目的は、単なる返済の促しではなく、利用者の生活が安定し、自立した暮らしを続けられるようになることです。▶そのために、電話や訪問による生活状況の確認に加え、就労支援、家計相談、食料支援、福祉サービスの紹介など、利用者の生活を多方面から支援しています。今後は、電話が繋がらなかったり、住所がわからないなど、支援が届いていない世帯に対して訪問による生活状況の聞き取り等に力を入れていく予定です。▶これからも、長期的な視点で利用者寄り添いながら、お住まいの地域で安心して生活できるように必要な支援を行っていきます。



【今後も利用者に寄り添った支援に取り組んでいきます】

## ■令和7年度 福祉研修センター 研修一覧■

### ◆ 福祉従事者全般対象 ※詳細は本会HPに掲載（<https://www.sagaken-shakyo.or.jp/>）

(新) 明日からすぐ使える！ChatGPTを活用した福祉業務の効率化・時短テクニック実践研修	令和7年8月6日(水)
(新) 感情と賢く付き合うためのアンガーマネジメント研修	令和7年8月22日(金)
(新) 心をつなぐコミュニケーション研修～信頼関係を築き・伝える技術～	令和7年9月1日(月)
(新) 成長を応援！人材確保と定着支援研修	令和7年10月6日(月)
(新) 感染症から利用者・職員を守る！福祉現場で役立つ感染症対応力向上研修	令和7年10月 予定
(新) 職員が傷つけないためのカスタマーハラスメント対応研修	令和7年11月13日(木)
(新) 現場で活かせる「チームの要」育成実践研修	令和7年11月21日(金)
(新) 判断力を磨く！緊急時における適切な意思決定と行動のスキルアップ研修	令和7年12月 予定